

大人

ほ
き
め
た
る
え

「校訓とともに」

じぶんから みんなと いっしょうけんめい

子ども

毎日
おみ
やげ

長崎市立外海黒崎小学校
令和6年度学校だより
令和7年2月17日(月)
校長 溝 川 浩

～寒い時に子どもは育ちます～

一年で最も寒い時期です。部屋にこもりたい、布団から出たくない、温かい服をたくさん着たい、親の車で送ってもらいたい・・・などと思ってしまう。調べによると、子どもは大人が重ね着する枚数より一枚少なくてもちょうどよいといわれています。それほどエネルギーを体から出しているということです。成長・発育途上ですから十分理解できます。私のマイルールに、「冬は重ね着最大3枚」があります。おかげで平熱が少年時代と変わらず、風邪や体調不良とは無縁です。強い体に育ててくれた親にこの年にして改めて感謝です。

辛い環境で子どもの心は育ちます。そういった状況を乗り越える実践を促すのは周囲の大人。家族の未来、外海の未来を担う44人を今こそ鍛え育ててまいりましょう。

～最近目覚ましい外海っ子の成長～

- 自分から挨拶する児童が増えました
- 靴箱で自然と両手を添えて靴を揃えます
- 授業中の話の聞き方が真剣です
- 6年生のノート書き取りが細やかになりました
- 5年生の授業参加が一層真剣になりました
- 4年生は今も変わらずチームワーク◎です
- 2・3年生が複式学習に慣れ集中して課題に向かうようになりました
- 1年生の授業中の発表が盛んになりました

それぞれの学年で確実な成長を果たしているようです。校長冥利に尽きます。

～積雪による給食停止から学んだこと～

報道でもあった先日発生の給食停止は、私の教員人生初の出来事でした。それほど稀で今後ないとは言えない災害の備えの必要性に気づかされた出来事でした。

給食はあって当たり前ですが、給食が配送されない、給食センターが作れない等の場合があることを実体験で理解しました。配送や調理ができなくなる可能性は0ではなく、そういった状況下でも児童に給食の代わりになるものを学校として提供できる備えは今後必要と考えます。

12日夜、育友会の役員・評議員による会合が本校で行われ、そのことについても話し合いをしていただいたところです。感謝申し上げます。来る20日臨時総会の折に、評議員会を経ての提案「備蓄用非常食の育友会予算支出」について保護者会員の皆様になされると思います。

我が子を学校に通わせることがより安全安心となるよう、また、教職員と保護者で共通理解のうえ本校独自に災害対策が図れますよう、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

地域とともにある学校(紹介)

★学校運営協議会委員の方がゲストティーチャーとして6年生の授業を行いました

これまで2度来校いただき、6年理科の授業で電気についてお話をいただきました。当該委員は、大学卒業後、電気関連会社に就職しお仕事を続けてこられ、電気に関してはプロフェッショナル。結婚、子育て、退職を経たのち、この外海地域にお住まいになられています。授業では、電気のことをはじめ、ご自身のかつてのお仕事についてのお話など、キャリア教育についてのご指導いただきました。これからも、住民の方に機会をとらえ授業にご協力いただくようにしてまいります。そして、街中で出会った折には、互いに気軽に名前を呼び合い、挨拶を交わし合える関係が広がっていくことを願います。当該委員の方には心よりお礼申し上げます。

★十四日金長崎大学の学生が本校の教育活動を視察に来ました

このたび、長崎大学教育学部1年生8人の学生が来校し、授業観察を行いました。来校した学生さんは、卒業後、離島勤務を前提に採用試験を受ける予定の皆さんです。伺ったところ、県内外の高校卒業の方と分かり、長崎大学の特色が垣間見えました。学生さんたちは皆「子どもたちがかわいい」と口をそろえてコメント。嬉しくなりました。3年後、晴れて教員となり、子どもの命を守り育てる仕事に誇りとやりがいをもって働いてもらえたらと思います。貴重な機会を提供くださった長崎大学、市教育委員会に感謝申し上げます。